



横浜市議員

かわら版瀬谷 花上きよし市政レポート

2025年8月(第534号)

花上きよし事務所 ☎(363)9749
瀬谷区三ツ境174-37

住みたい街ランキング、「横浜」が8年連続1位

「子育てしたいまち」へ支援拡充

横浜市議員 花上喜代志



▲日本一の街づくりを山中市長と共に

㈱リクルートの「SUMO住みたい街ランキング2025 首都圏版」で、「横浜」が8年連続の1位を獲得しました。

ライフステージ別のランキングでは「夫婦のみ世帯」「夫婦＋子ども世帯」などでもトップ。「夫婦のみ世帯」（共働き）や「シングル女性世帯」の得票シェアは前年から伸びており、若い世代の支持が増えていることが明らかになりました。

若い世代や子育て世代から支持される要因としては商業施設の多さ、公園や緑の充実など暮らしやすさに加え、市による一連の子育て世代支援策もあると考えています。

山中市長は「子育てしたいまちヨコハマ」を推進。

妊婦健診費助成の拡充、最大9万円の出産費用の独自助成、子育て関連の手続きも可能な専用アプリの導入、学童保育における長期休み中の昼食提供、中学3年までの医療費無償化など、妊娠・出産期、乳幼児期、小学～中学生まで支援体制の充実が図られています。

26年度には要望の多かった市立中学校での全員給食が始まります。

横浜が選ばれる街へ

人口減少社会において、市でも21年（377.9万人）をピークとして、50年後には約300万人まで人口が減ると推計されています。

そうしたなか24年には、20～40代の社会増減（転入者と転出者の差異）が前年プラス1万6526人と過去20年で最大、生産年齢人口（15歳～64歳）の増加幅も5881人と過去20年で最大級となるなど、明るい兆しもあります。

私は横浜市の持続的な発展のため、山中市長とともに「子育てしたいまちヨコハマ」を推進していく考えです。

進む上瀬谷の街づくり

国際園芸博覧会（グリーンエキスポ）開催まであと1年7ヶ月となり、会場となる上瀬谷の街づくりが急ピッチで進んでいます。横浜市で最も注目される街となった瀬谷区選出議員として、引き続き園芸博の成功と上瀬谷の街づくりに山中市長と共に全力を傾注してまいります。

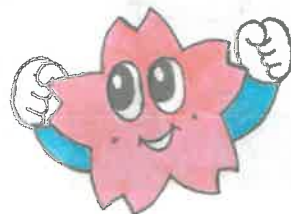


横浜市会議員

花上きよし市政レポート

2025年8月(第534号)

熱血行動派！



山中市長が横浜市長に再選！

命と暮らしを守る実績が評価

横浜市会議員 花上喜代志



▲山中市長の再選に尽力した花上市議

8月3日投票が行われた横浜市長選挙で再選を目指した山中竹春市長が当選しました。

4年前の市長選で初当選した山中市長は、バクチであるカジノを就任直後に撤回、また当時蔓延していたコロナ対策に全力を挙げて取り組み、高い評価を受けました。

さらに選挙公約の3つのゼロと中学校給食の実現に努め、成果を挙げました。

公約の実現度は9割を超え、市民の高い支持を受けました。

今回の市長選で山中市長は「縮小する社会に挑戦していく」として、「市民の安心安全を守り、横浜を確固たる成長の軌道に乗せる。これが私に課せられた責務」として防災対策や市民の暮らしを守る具体的な政策を訴え選挙戦に臨みました。

山中市政の4年間で横浜市政に大きな変化

- ①観光客が3,773万人、観光消費額も4;564億円と過去最高を達成しました。
- ②横浜への企業進出も進み、誘致に伴う投下資本が2,662億円となりました。
- ③子育て世代の転入が16,526人と過去20年で最大となり、4年ぶりの人口増となりました。生産年齢人口（15歳～64歳）は3年連続増、20年で最大級の増加となりました。
- ④データを活用して財産の創出に効果を挙げ、20年～25年の総額が645億円となりました。

私は2期目となった山中市長と共に、1年半後のグリーンエキスポの成功と、上瀬谷の街づくりに全力を挙げ「日本一魅力ある大都市ヨコハマ」づくりに取り組んで参ります。